

テーマ：協議体の参加者について

A グループ

意見（付箋）

- ・民謡、民踊、カラオケグループ
- ・お花作りの上手な方
- ・町内会長、自治会（役員）
- ・食生活改善グループ
- ・三世代同居の真ん中世代の方
- ・学童保育の先生方
- ・シルバー人材センターの会員
（技術者、剪定、庭造り、電気技術者）
- ・医療関係者（医師、看護師、保育士等）
- ・消防、交通安全協会
- ・社協、民生委員、福祉推進員
- ・ヘルスボランティア
- ・地域ふれあいサロン世話人
- ・町内ボランティアグループ
- ・振興会ボランティア（食事、バザー）
- ・児童クラブの世話人
- ・折り紙、手芸、野菜作りの得意な方
- ・その地域に住む60代の人（男女問わない）
- ・話の上手な人
- ・料理の上手な人
- ・メンタルヘルスボランティア
- ・老人クラブ
- ・高齢者とかかわっていて、困ったこと大変なことを感じている方
- ・婦人会

具体策

- ・100歳体操に参加する（参加できる人）
夜の開催。仕事をしている人は、夜（夕方）に集まりがほしい！
- ・地域で検討会などの勉強会を行う。
- ・地区社協などの役員会を利用する。
- ・30歳代～80歳代を集める。
- ・三世代交流の場を利用して発進する。
- ・認知症サポーター養成講座の開催
- ・協力してもらえる職種の方の情報収集をする。
- ・地域の検討会議を年間、何度か開催し、地区社協全体の役員会をしています。年代層は、30歳代～80歳代参加
- ・100歳体操に参加してほしい。茶話会にも参加してほしい。

見込める効果

- ・身体・精神の安定
- ・支え合いを考える機会を増やす。
- ・若い人の意見を取り込む。
- ・若い世代の人に現状を知ってもらう機会になる。
- ・地域の高齢者の状況を若い人が知る機会になる。
- ・参加者の安心、安全を図る。
楽しめる内容をつくる。

テーマ：協議体の参加者について

B グループ

意見（付箋）

- ・町内の福祉推進員
- ・老人会
- ・自治会の役員
- ・サークル活動の参加者
- ・サロン代表者
- ・民生委員
- ・町内のおせっかいおばさん、おじさん
- ・料理が好きな方
- ・各種ボランティア団体（ヘルスボランティア、食生活改善推進員）
- ・男性の方が少ないので、特に男性にも参加して欲しい。
- ・歌の好きな人
- ・婦人会
- ・医療関係の方（退職された方）
- ・自然体で取組んでくださる方（素直に何でもやってみよう！）
- ・働いている60代、70代の方にも参加してほしい。
- ・簡単な電気機器の修理が出来る人
- ・話が上手に出来る方（皆を楽しくしてくださる方）
- ・介護経験のある人

具体策

- ・自治会役員
 - 高齢者に対する理解を深める機会をもつ（勉強会）
 - ※あきらめずに、何度もアタックする。
- ・老人会の方
- ・男性参加率を高めて下さる方（地域で集める事ができる男性）
 - 男性同士で競い合う。
- ・男性だけのサークルや集いの場を作る。
- ・介護体験をした人
 - 体験談を聞く機会を設ける。
- ・音楽による健康づくり
 - レクリエーションに参加してもらう。
- ・民生委員
 - サロンや集いの場を見学してもらう。

見込める効果

- ・参加者も担い手も元気になる。
- ・地域のコミュニケーションが取れ、町内が明るくなる。
- ・お互いに思いやりが生じる。
 - 相手の状況が深くわかる（健康状態など）。

テーマ：協議体の参加者について

C グループ

意見（付箋）

- ・ヘルスボランティア
- ・民生委員
- ・自治会（役員）
- ・ボランティア
- ・食生活改善推進員
- ・老人クラブ
- ・いきいきサロン（世話人）
- ・特技を持っている人
（料理好きな人、民謡、カラオケ、将棋、スポーツ等、仕事をしていない男性に集まってもらう。）
- ・地域福祉推進員
- ・保育園
- ・開業医

具体策

- ＜ボランティア＞
 - ・ボランティアの一覧では活動の内容が分からない。
- ＜地域福祉委員とケアネット＞
 - ・各地区から5名ずつ出してもらう。
- ＜特技＞
 - ・利用者の中からみつける。
 - ・支え、支えられなので、先生は必要ない。
 - ・まずは、たくさんの人に参加してもらうこと。
- ＜民生委員＞
 - ・男性に参加してもらうには
→民生委員に声かけしてもらう。

見込める効果

テーマ：協議体の参加者について

D グループ

意見（付箋）

- ・趣味・特技をお持ちの方
- ・料理の上手な人
- ・軽食づくりの達人
- ・各サークル（歌、踊り、体操）の先生にサロン会や支え合いの茶話会などで講師になってもらう。
- ・小学生、中学生、高校生、大学生
- ・町内の年寄り、おじいさんが作っているグループ（好爺会）
- ・自治会長
- ・自分の仕事を語れる方
- ・地域におられるケアマネジャー、あるいはケアマネジャーの経験者
- ・ヘルスボランティア
- ・食改の責任者をして活躍されている方
- ・田んぼ、畑に精通した人
- ・民生・児童委員
- ・退職した保母さん
- ・老人クラブ

具体策

- ＜趣味をお持ちの方、先生と呼ばれる方＞
 - ・人材の発掘をはかる。
 - ・振興会だよりで案内
 - ・家の玄関等に飾ってあるものから（特技が）見える。
→民生委員の高齢者訪問
- ＜自治会長、町内会長＞
 - ・3層からの積極的アプローチ、アタック

見込める効果

- ＜趣味をお持ちの方、先生と呼ばれる方＞
 - ・活動の多様化、マンネリを防ぐ。
 - ・興味、窓口を広げることにつながる。
- ＜自治会長、町内会長＞
 - ・きめ細やかな対応ができる。
 - ・必要とするものを買ってもらえたり、準備してもらえる。
 - ・考えた方が浸透する。広がりを見せる。